

TANIDA  
MOTOR SPORTS



 **eject**<sup>TM</sup>  
helmet removal system

頭部頸部損傷時のレスキューツール

Aids in the safe removal of helmets when neck and spinal injuries are suspected.



## eject HRSでクラッシュ負傷者の頸部・脊椎損傷悪化を防止

負傷者からヘルメットを引っ張って外すと、頸部・頸椎の損傷を悪化させ、深刻な衰弱や障害の原因となります。ejectヘルメットリムーバルシステムは、上部頸椎を固定した後ヘルメットを頭部から安全に取り外せるように設計されています。

## AMA・IRLが義務化を実施

AMA（アメリカン・モーターサイクリスト協会）は、AMAのスーパークロスシリーズやアウトドア・ナショナル・モトクロスシリーズに参戦するライセンス取得済みプロライダー全員に、ejectヘルメットリムーバルシステムの装着を義務付けています。また、IRL（インディ・レーシング・リーグ）でも、全ての参戦ドライバーにこのシステムの装着が義務付けられています。

## 簡単装着・簡単操作

ejectヘルメットリムーバルシステムは、装着・操作が簡単な画期的装置です。ヘルメットの内側にエアバッグを取り付けてライナー後ろ側からエアチューブを通し、ポンプをつなぐためにヘルメット底部にチューブの端が出るように装着します。詳しくは「使用説明」をご覧ください。

### 警告

モータースポーツには常に危険が伴います。レースへ参加することにより重度の脳・頭部・頸部の損傷を負う恐れがあり、麻痺や死亡にいたる場合があります。参加する際は十分注意し、適切な保護装置を使用・着用してください。ejectヘルメットリムーバルシステムを使用するだけでは、これらの危険から回避することはできません。

**eject** Auto/Motorcycle Helmet Kit

ITEM: 890-01-30

eject オート/モーターサイクルヘルメットキット



**eject** Auto/Motorcycle Helmet Kit with Inflator Bulb

ITEM: 891-01-30

eject オート/モーターサイクルヘルメットキット (送気ポンプ付き)



**eject** EMT / First Responder Helmet Removal Kit

ITEM: 892-01-30

eject EMT/ファーストレスポonder・ヘルメットリムーバブルキット

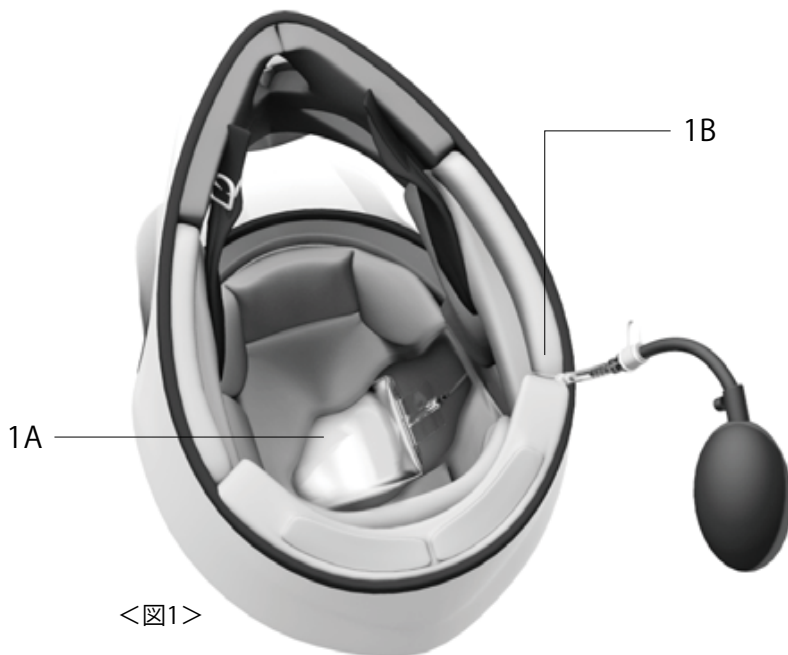


## 使用説明 — ヘルメットキット

1. ヘルメットの後頭部側を手前にし、逆さまに置いてください。
2. 可能であれば、<図1A>のようにヘルメットのライニングの下にエアバッグを設置します。ライニングがシェル内側に密着している場合は、ライニング上にejectヘルメットリムーバルシステムを設置し、ShockDoctor™が提供するクラウンパッドで覆ってください。
3. プラスチックチューブが右側に出るように、ヘルメット内側の頭頂部にエアバッグを置きま  
す。この時点ではまだエアバッグを貼り付けしないでください。
4. <図1B>にあるように、チューブをライニングの後ろへ通し、チークパッドの間から下に向  
けて出してください。（ヘルメットによっては、チューブを通すためにライニングに小さな切  
り込みを入れる必要があります。）

**注記** ヘルメット内側の構造によっては、別のチューブ経路が必要な場合があります。別の経路でチューブを装着する際は、必ず容易にポンプを接続できるポイントにコネクタ部を配置し、そのポイントが識別できるように、「eject equipped (eject装着)」のシールをヘルメットに貼り付けてください。

**重要** チューブが潰れたり、よじれてないことを確認してください。

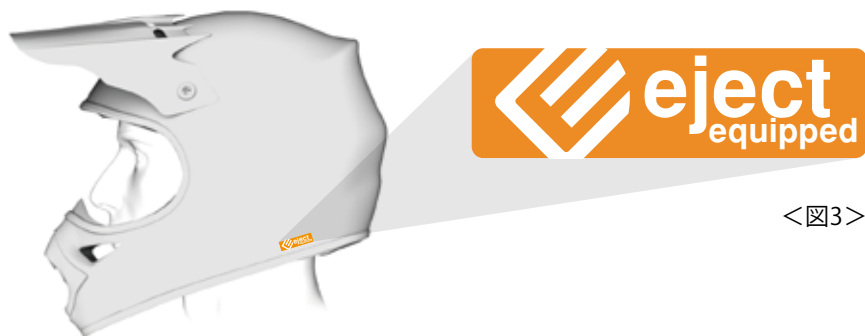


ShockDoctor™は、このヘルメットキット／エアバッグを2年毎に交換することを推奨しています。本書を必ず保管し、ヘルメットキットの使用開始日を記入しておいてください。

ヘルメットキット使用開始日: \_\_\_\_\_



5. コネクターをヘルメット底部の<図2>の位置に面ファスナー（マジックテープ等）で固定してください。
  6. チューブが適切に固定されたなら、エアバッグを付属の両面テープでヘルメット内側にしっかり取り付けてください。
  7. ヘルメットキット装着のためにライニングを取り外している場合は、エアバッグ上にライニングを戻します。ライニング上にejectを装着した場合は、クラウンパッドキット付属の両面テープでクラウンパッドを取り付けてください。エアバッグが所定位置に確実に保持されていることを、自己責任により定期的に確認してください。
8. <図3>のように、チューブ末端のコネクター固定位置のヘルメット外側に、「eject equipped (eject装着)」シールを貼り付けてください。



## 送気ポンプと訓練用エアバッグについて

この注意事項は、デモ用エアバッグの使用にのみ適用されます。

実際の緊急時には、適切な訓練を受けていない方はejectヘルメットリムーバルシステムを使用しないでください。エアバッグと送気ポンプに関する注意事項を遵守してください。

最初に、ご自身で救出される側を体験してください。これにより、ヘルメットの実際の取り外し方と取り外される感覚を同時に経験でき、処置の流れをよりの確に把握できます。

訓練用エアバッグは、訓練の目的に沿う範囲で使用してください。この訓練用エアバッグは実際の緊急時の使用には適しません、訓練用としては数回使用できます。

使用後はエアバッグを押し空気を抜いてください。空気が完全に抜けきったら、折り目に沿って畳んでください。再使用する場合は、セロハンテープ（約6ミリ幅）またはマスキングテープでエアバッグをとめてください。

エアチューブが短すぎてヘルメット底部まで伸ばせない場合は、エアチューブをアイポートの後ろから通してください。

このデモ用エアバッグは訓練用にのみ使用してください。新規のエアバッグとして絶対に使用しないでください。エアバッグを救助用として使用した場合、そのエアバッグは廃棄し、新たに別のエアバッグをヘルメットに装着してください。

# EMT — 緊急救助隊ガイド

ejectの使用は、脊椎固定法の訓練を受けた救助隊員のみが、注意事項・使用方法を熟読した上で頭部損傷が疑われる場合、またヘルメット内に砂利・ガラス・他の異物が入っている場合は、eject

脊椎固定法の訓練を受けた救助隊員のみが、注意事項・使用方法をすべて読んだ後にejectへ管理者とejectの使用訓練を受けた人がいない場合、コースの所有者・管理者、あるいはコースに本書が届くようにしてください。

1. 負傷者のヘルメットにejectが装着されていることを確認してください。「eject equipped (eject 認結果に基づき、以下の適切な手順に従ってください。

エアチューブが見つからない  
ヘルメットにejectが装着されていない

2. EMTキットを使用して負傷者のヘルメット内側にejectエアバッグを挿入する前に、ヘルメットの構造損傷具合を確認し、頭部損傷の可能性を検討してください。頭部損傷が疑われる場合、またはヘルメット内側に砂利・ガラス・他の異物が入っている場合は、ejectエアバッグを挿入しないでください。



3. 負傷者が眼鏡やゴーグルを着用している場合は、慎重に取り外してください。
4. ヘルメットの顎紐を外すか、切断してください。
5. 負傷者の頭頂部に達するのに必要なEMT挿入ツールの長さを決定するため、ヘルメットの頂点にツールの先端を合わせ、ヘルメット外周に沿わせるように測ります。

エアチューブがある  
ヘルメットにejectが装着されている

2. ヘルメットの構造及び損傷具合を確認し、頭部損傷の可能性を検討してください。頭部損傷が疑われる場合、またはヘルメット内側に砂利・ガラス・他の異物が入っている場合は、ejectを挿入・作動させないでください。



3. ejectに空気を送る前に、必ずヘルメットの顎紐が外されている、または切断されていることを確認してください。

行えます。  
を使用しないでください。

ヘルメットリムーバルシステムを作動できるため、バイクまたはマシンを走らせるコースの所有者・  
に來ている家族や友人に本書を渡し、万一の際に備えてファーストレスポンス（一時救助者）

装着）」のシールとヘルメット底部から出ているプラスチック製エアチューブを確認してください。確



6. チンガードを持ってヘルメットを軽く浮かせ、負傷者の額とヘルメットの間 eject が挿入できる程度の隙間を作ります。
7. 負傷者の頭頂部に届くまで eject 挿入ツールをヘルメット内に押し込みます。



8. 白い挿入ツールをヘルメットから抜き取ります。



4. 送気ポンプまたはエアガン（救急隊員用エアガン）を、eject のコネクタに接続し、エアバッグへ空気を送り込んでください。



5. ヘルメットが負傷者の鼻を通過するようゆっくり外し、気道を確保しつつ頸椎を手で固定して安全に取り外します。



## 警告

モータースポーツやレースには常に危険が伴います。これらの活動に参加することにより重度の脳・頭部・頸部損傷を負う恐れがあり、麻痺や死亡に至ることもあります。参加時は十分注意し、適切な保護装置を使用し着用してください。ejectの使用により、このような傷害を負う可能性が排除されるわけではありません。

## 免責事項

本製品の誤用もしくは注意事項・使用説明事項を遵守しないことに起因するお客様ご自身、他の方、または機器類への損害・損傷に関しましては、ShockDoctor™社・当社・販売店のいずれも一切の責任を負いません。ShockDoctor™社及び当社は、本書の注意事項に従って本製品が使用される場合、本製品が本文に記載されている目的に適合することを保証します。ShockDoctor™・当社・販売店のいずれも、適用法規の範囲内において、本文に記載されている事項以外の、商品性または特定の目的への適合性の保証、また明示・黙示に関わらず他のいかなる保証もいたしません。



### お買い求めになる前に

**お買い求めになる前に** ■SHOCK DOCTOR製品は厳正なる規格に準じて生産しております。加工、改造は絶対に行わないでください。■製品の内容は改良のため予告なく変更する場合があります。■価格は輸入商品の特性上、為替レートや現地価格の変動により変更する場合があります。お問い合わせください。■商品価格に取付工賃・送料等は含まれておりません。■本書中の写真は、撮影・印刷の都合により実際の色とは異なって見える場合があります。■本書の内容を無断で複製することや、転載することを禁じます。

\*SHOCK DOCTOR™は予告無しに仕様を変更する権利を有しております。

\*SHOCK DOCTOR™はSHOCK DOCTOR, INC.のトレードマークです。

# SHOCK DOCTOR™

sports protection

SHOCKDOCTOR, INC. 正規輸入代理店

株式会社タニダ

名古屋市昭和区鶴舞2-3-17 TEL (052) 871-3741

WEB <http://www.tanida-web.co.jp> Email [info@tanida-web.co.jp](mailto:info@tanida-web.co.jp)

Made in U.S.A.

SafeSport, Inc.に帰属する米国特許5,428,845及び6,000,065、ならびにカナダ特許2,166,293により保護されています。生産者は本製品の誤用に対し一切の責任を負いません。